

豊潤の里 だより

美しい赤崎に、こんな最終処分場ができていいのか !?

～ 赤土の古里は、未来の木谷っ子からの預かりもの ～



(株)栗本ホールディングス(以下(株)栗本とする)が2017年9月に、最終処分場建設予定地の地権者を集めて説明会を行って3年が経ちます。昨年末の12月25日に最終処分場建設反対の要望書を広島県に提出しましたが、今年に入り新型コロナウイルス感染拡大に伴い、建設反対運動を進めることができない状況が続いています。今一度(株)栗本が計画している産廃最終処分場について考えてみたいと思います。

①民間企業=(株)栗本ホールディングス

・利益を上げてなんぼの企業。

進め方やり方を選ばず!?

➡安全と言って造った処分場に危険物がいっぱい。近くの池が茶褐色・悪臭(他企業)。

・説明がコロコロ変わる～信用できない!!

➡「JFEのスラグ搬入」(実は種類多種、アスベストも。全国からゴミが搬入の可能性

➡「漁協からはOKをもらっている」

(実は、漁協はOKを出していない。)

※地権者・木谷自治協会長が署名捺印した書類を使って組合長を説得(現存しない書類・虚偽)。

②規模 ★民間では県内最大級

・処分場(造成)面積8h

・埋立て面積3.8h ★豪雨の時土砂くずれも

・埋立て容量88.9万m³

★今ある処分場の約6倍

★埋立高さ61m

➡サイレン山(小学校前)と同じ高さ

③産業廃棄物の種類

燃え殻、汚泥、廃プラスチック類、ゴムくず、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず、鉋さい、がれき類、ダスト類(ばいじん)、紙くず、木くず、繊維くず、動物性残さ、廃石綿等(※注 アスベスト)

➡広島県は最終処分場数全国4位(県条例が無いから)。全国からの産廃が集まる。

➡「～類」「～等」とは、他に何が埋め立てられるか分からない。重金属等有害物も。

➡15年間にわたり、24時間監視するのは無理。

④毎日 大型車両 25 台

➡毎日大型車両 100 台以上の可能性も !?

※今ある処分場は約70%埋立(約25年間で)、その規模6倍の所を15年で埋立完了させるには、想像を超えた産廃が全国から運び込まれる。

⑤土地及び施設等の使用権原の取得状況

➡土地取得に向け交渉中

※(株)栗本はほぼ毎月、地権者を訪問している。

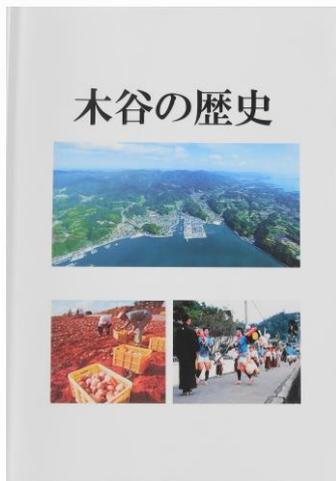
★土地が渡れば、処分場建設が濃厚になる。

(H28年(株)栗本が県に提出した事前協議書を参照)

元木谷自治協会長が「木谷の歴史」を執筆



植野洋文さん（木谷自治協議会初代会長）が、地元木谷の歴史をまとめた冊子を執筆。以前、町史の編纂に携わったこともあり、木谷の歩みが豊富な資料や写真を利用してわかりやすく書かれています。産業分野では木谷地域は農業をベースにしながら江戸時代中期から製塩が盛んになり、明治時代半ばからはレンガ製造がそれに代りましたが、戦後の経済成長期を迎える頃には衰退しました。いずれも海や土質といった自然環境を生かした事業でしたが、世の遷り変わりを映す鏡でもありました。また木谷小学校の歴史、木谷の特色である杜氏や馬鈴薯の歴史についても詳しく書かれており、木谷の将来を考えるためにも読んでみたい一冊です（木谷地域センターでも閲覧できます）。



た。2月末から執筆を始め、町史に入れられなかった史料のほか、22年に開校150周年を迎える同小の歴史も加えた。

植野さんは「木谷の人々の生活を身近に感じ、地域のより深く知ってもらいたい」と話している。（高橋肇々）

市が「西之谷集会所」を地元は無償譲渡



東広島市が推進している公共施設の適正配置計画では、集会所等は原則として地元の理解が得られた施設から、地元で設立された認可地縁団体に無償で譲渡していくことになっています。

木谷地域には3施設（西之谷集会所、郷会館、赤崎集会所）があり、このたび西之谷集会所の無償譲渡が市議会で承認されました。郷会館についても譲渡先となる認可地縁団体を設立する動きがあります。

部会活動紹介

教育文化部会



7/20 ホボロ島をめぐる学習を地域でお手伝い
5年生が 7/9 にホボロ島の歴史について事前に植野洋文さんから学び、7/20 には増田典生さんと長尾准司さんの協力により、船で鼻繰島とホボロ島に渡り、古本敦子さんから地質の違いや海に生息する生き物について学びました。

次世代部会



8/16 身近な海のカニから学ぶいのちの営み
短かった夏休みの最後の日、5組13名の親子が小学校横の浜辺で、古本敦子さんと一緒にオスのハクセンシオマネキが大きいほうのハサミで潮を招く仕草をする「婚活」の様子を観察したり、そのハサミが左右どちらにつくカニが多いかを調べました。〈木谷はっけん野遊び会〉

福祉生活部会



8/2 高齢者にお茶と塩飴を (友愛訪問)
77歳以上の高齢者292名に、担当区長から塩飴とお茶入りペットボトルが届けられました。これは高齢者の熱中症予防に役立ててもらおうと、自治協の事業として木谷地区社協「蛟龍」が準備をしたもの。届ける際、体調などを伺うこともできるので、見守り活動にもつながるとのことです。

〈木谷自治協議会・木谷地区社協 蛟龍・区長〉



9/12～「福寿の会」の行事を中止し314名に記念品を贈呈

今年度の「福寿の会」は9月13日に実施する予定でしたが、新型コロナウイルス感染防止のため、記念品の贈呈のみとし担当区長にお願いして届けていただきました。〈福寿の会実行委員会・区長〉



福寿の会の記念品



防災安全部会



9/13 「土のう」の利用急増、800袋を追加

梅雨の長雨と大型台風の接近に備え、土のうの利用が急増。今年6月に用意した600袋が底をついたため、消防団（第10方面隊第一分団）の団員17名を中心に、自治協防災安全部からも5名が参加し、新たに800袋を作り備蓄しました。

木谷自治協議会にご寄付をいただきました

ご厚情ありがとうございました。

令和2年8月 植野 眞智子 様（香典返し）

皆様からの温かいご寄付は、元気な木谷をつくるために活用させていただきます。

※ お問い合わせは、木谷自治協議会事務局（木谷地域センター内）までお願いいたします。

<2020年11月までの各部会の主な活動予定 >

10月18日（日）に予定されていた重松神社秋季例祭の大名行列が中止となるため、木谷フェスティバルも中止とさせていただきます。<木谷地域まちづくり実行委員会>

10月24（土）に実施予定の「教育講演会」は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止といたします。<木谷小学校・木谷小学校PTA・木谷自治協議会>

10月後半に実施予定の「合同ふれあいサロン」（地域サロン参加者と小学生の交流会）は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止といたします。<木谷地区社協 蛟龍>

木谷の人口（住民基本台帳）	世帯数	人口（男女計）	男	女
令和2年8月末現在	697	1548	756	792
令和1年8月末との比較	+8	-16	-4	-12

編集：木谷自治協議会事務局 広報担当